

## 問に答ふ

注 水彩畫に關係あるものは限る◎印は答。一般に對し利益なきものは載せず

■見取棒を立つるには如何にせば一番便利なるか、且つ眼との距離は幾何位が適度か(山梨灯煙)◎正しく手に持つが便利で眼との距離は其棒の大きさによつて一様ならず普通二寸に三寸位ひの棒(内部)なれば眼より一尺程離せば視角を出るとなからん■硬き繪又は軟き繪とは如何なる繪を意味するや2色彩の不調和なる繪とは如何なる者なりや3外國にて發行せる美術雜誌の定價及發行所を問ふ4ローヤルアカデミーの畫集は定價何程也や(京都霞峯生)◎1硬き繪とは前號に答へし通り軟き繪とは其反對何れも其極端に走るはよからず2見て甚しく眼を刺激する者或は華美な色や沈んだ色の配置よろしきを得ぬもの要するに不自然なるものを指す3The Art-Interchange (350 New York. L'Art Pratique. Fe 1.25. Munich. The Studio Is London. L'Art Decoratif Paris Gazette des Beaux-Arts. The Magazine of Art 35c London, New York. Die Kunst Für Apple. 3mcoptg. munchen / Brush and Pencil 25c Chicago. The Artist London. The Brochure Boston. Revue Illustrée Paris 4定價一シクワンク丸善にて多分六

十五錢尤も大形の上製は四五圓と思ひます詳しくは丸善に問合されたし■水彩畫着色の際繪の具を混合するに一色毎に筆を洗ふべきにや(KH生)◎明るき色より暗き色に及ぼす際には一々筆を洗はぬもよき場合あれど繪具の清潔を望むなら洗ふ方よからん■圖案畫に金色銀色を用ひ度候が金泥銀泥とは如何なるものによ直ちに用ひ得べきや(S.H)◎普通彩料舗にある棒狀若くは泥狀の品は其質よきもの稀なり、金銀粉を求めて板ニカワにて融かし用ふるをよしとす■美術新書、洋畫手引草、油繪山水訣、繪事三要、畫法自在、水繪具誌等の發行所定價郵稅等を知りたし(高知森本)◎美術新書、油繪山水訣、繪事三要等何れも絶版、洋畫手引草は本郷湯島切通坂町畫報社發行送料共七十四錢、畫法自在日本橋博文館送料共二十六錢、水繪具誌神田表神保町文房堂送料共二十二錢

## 寫生會

●北總パレット俱樂部○會場下總成田橋爪宅○明治三十七年四月創立○會員三十八名○會費十錢宛○部長成田中學校圖畫科教師關欽哉先生○委員川島芳雄藤崎源一郎橋爪石民○毎月一回小會年四回大會○大會は中學校内に関き廣く縦覽せしむ(以上波志津女氏所報)

●スマレ會○所在大阪西堀江○會長乙部孝○會員十餘名○毎月第一、第二日曜日寫生會○第四日曜日展覽會開催○畫集かるかやを發行す(以上乙部孝氏所報)

## 評

◎寫真例題集

第二十一卷第二十二卷 大阪 桑田商會發行

疊紙入十枚一組金三十錢

二十一卷にては殘照投網、朝の水汲、遊鳥、家庭勤學、二十二卷にては春靄、朝の河等面白し、殊に春靄は雅邦氏の山水畫を見る如く、位置といひ調子といひ申分なき出來なるべし。

◎家庭女學講義

第一號 麴町三番町 家庭女學會

主婦の修養を目的として發行せられしもの體裁甚だ質素なれど内容極めて豊富に。何れも實用を主としたる記事にて満たされたれば此講義録が一般の家庭に向つて多大の利益を與ふる事疑なかるべし。

□樋口絹子氏へ御作技巧は見るべきものあれど杉二本枯木二本家二つ茅塚二つ是ては半分に切つて二枚にした方がよく繪として重複の嫌有之候

□乙部孝氏へ前景樹木の色面白けれど中景少しく強さに過ぎずや